

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより

ふるさと緑の景観地から緑のオアシスを巡る!

市内には県制定のふるさと埼玉の緑を守り育てる条例に基づき、武蔵野の面影を残す雑木林など埼玉らしさを感じさせる景観地が原市と藤波・中分に指定されています。今回は藤波・中分ふるさと

の緑の景観地からスタートし、一人一人が推進する草原、農地、住宅地や菜園の緑化、環境美化の現地を歩きました。

平素、藤波・中分ふるさとの緑の景観地は市とボランティア活動により保全され、植物、ウグイス、チョウゲンボウ、チョウやミツバチなど多数の生き物を温存しています。

先日、景観地で樹木整理や草刈り、環境美化などの定例管理の準備を行っていた下

芝・緑と里山を守る会の事務局長さんにお会いしました。環境保全と多くの市民が森林浴や自然観察に集まれるような配慮や落ち葉の有効利用、環境美化などの展望を伺いました。

荒川域の草原では菜の花が咲き、ミツバチやシロチョウ類、カタテハが飛び、荒川を挟む広い草原の上空に常連のトビが2、3羽旋回、さらに珍しいノスリがヤナギに飛来していたので撮影しました。

景観地の近くの水田ではセリチョウ類が飛び、休耕地ではヨシが繁茂しオオヨシキリが鳴いていました。さらに近年希少になったオニヤンマがヨシの株間を往復飛翔、大事にしたいと思えました。

大石地区
平井 一男さん



中妻と浅間台では農地の周辺や菜園・花園に植栽されたビオラやキキョウ、ハーブなど多様な季節の花が咲いていました。NPO法人がつくっている『緑のオアシス』では在来のウマノスズクサにジャコウアゲハ、クスノキとシロダモにアオスジアゲハが飛来、茂みにはテングチョウが休んでいました。栗園のオアシスの半日陰には、近年珍しいキンランがきれいに咲きそろっていました。



緑の景観地の日常の保全



荒川草原のノスリ



休耕地ヨシ原のオニヤンマ



半日陰に咲く希少なキンラン

市民の情報交流スポット



広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873

おいでください

- 第45回ふれあい住宅デー 6月12日(日) 10:00~14:30、愛宕公民館・西上尾第一団地他市内4カ所 当日 流石☎773-9863 **ひと言!** 住まいの相談、リフォーム相談なら埼玉土建の住宅デー。
- お勤め帰りのフラダンス体験会 6月16日(休)15:00~16:30・6月22日(休)19:30~21:00、コミュニティセンター 当日 加藤☎090-4823-5317 **ひと言!** お勤め帰り癒やしの音楽に乗せ心身共にリフレッシュ!
- 『原発の町を追われて十年』映画上映会 6月19日(日)14:00~16:00(受付13:30~)、

定…定員 ☎…対象 費…費用 当日…当日、直接会場へ 申…申し込み

アッピーNET掲載団体募集

アッピーNETは市民の皆さんの交流の場として、催しなどへの参加者募集「おいでください」と、各団体のサークル会員募集「いきいきサークル」を掲載しています。観客を増やしたい・会員数を増やしたい団体は気軽に申し込んでください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



いきいきサークル

- 新大正琴コスモス会 毎月第2・4(金) 10:00~11:30、コミュニティセンター 費月額2,500円 申山崎☎781-9380(15:00以降) **ひと言!** 大正琴は簡単に初心者も安心。一緒に学習しましょう。
- キティクラブ(健康体操) 毎月第4(火) 10:00~11:30、畔吉集会所 費月額500円

- 申水沼☎090-2908-3050 **ひと言!** 健康寿命を延ばすよう楽しくストレッチしてみませんか。
- やり直し中学校 毎週(休)9:30~12:00、コミュニティセンター ☎65歳以上の 人 費月額600円 申佐藤☎090-9131-3217(18:00~20:00) **ひと言!** 認知症予防のため、中学の数学と英語の勉強をします。
- 西上尾将棋クラブ 毎週(日)13:00~17:00、大石公民館 費月額500円 申吉田☎090-3060-8633(18:00以降) **ひと言!** 体験実施中。子どもから大人まで将棋が好きな人。

スポットライト

～人・仲間～

上尾水辺守

SPOT LIGHT
The life of a great person

今回紹介するのはボランティア団体「上尾水辺守」です。上尾丸山公園の大池の自然再生に取り組むため、市内に在住の人を中心に令和元年8月にメンバー18人で結成されました。市が大池の水質改善のため、池の水を抜いて天日干しを行う「かいぼり」を協働で行うボランティアを募集したことがきっかけです。

当時の大池は、慢性的な水質悪化や外来魚による生態系の変化が危ぶまれていたため、「子どもの頃に遊んだ丸山公園の池が汚れていることを知り、協力したいと思った」「身近な自然環境の保全に関心があった」と、それぞれの思いを胸に活動を開始しました。

メンバーのほとんどがかいぼり初心者でした。座学や野外実習の研修で5カ月かけて知識を深め、準備をしたそうです。そのような努力のかけがえがあり、令和元年12月、上尾丸山公園大かいぼり祭は大盛況となりました。当日参加のボランティアとともに大池の水を抜き、在来魚を大池近くのアヒル池で保護しました。「当日参加の子どもたちの生き生きとした表情が見られてうれしかった」とメンバーは振り返ります。

大池は、令和

上尾丸山公園の自然再生

～大池の水辺を守る市民ボランティア～

2年4月まで干し上げた後、水が戻されました。池底がくっきり見えるほど透明になった大池に「かいぼり前には考えられなかった光景だった」と大変感動したそうです。

現在は、生き物の生息場所となる水草を再生するために、池底の泥を岸に盛って浅場を造るなどの活動を行っています。これにより、浅場にしか住めない生き物の姿が見られるようになるそうです。今では、自然の豊かさを示すバロメーターの一つである野鳥のカイツブリの繁殖が浅場で確認されるなど、かいぼりの成果は確実に現れています。メンバーは、「上尾丸山公園の自然が自分たちの手で再生することがうれしい」「自然の再生には、地道な努力の積み重ねが重要」と、さらに今後の活動にも力が入ります。

活動4年目を迎えることは、上尾水辺守2期生を募集し、大池の自然を再生するためのイベントも予定されています。また、再生した大池の生き物や上尾水辺守の取り組みを、市公式YouTube(あげTube)でも紹介しています。上尾水辺守の活躍と自然再生が進む上尾丸山公園から目が離せません。



上尾水辺守



令和元年に開催された上尾丸山公園大かいぼり祭



市公式チャンネルあげTube

読者の声

「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は5月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



特集 上尾市ここがイチ押し！

- 大型ショッピングセンターもあり、ますます住みやすい上尾になることを願っています。(50代・男性)
- 上尾市で作られているキウイは生産量県内一位と初めて知りました。今度食べてみようと思います。(30代・女性)

上尾市ここがイチ押し！コーナーは楽しんでいただけましたか。最後までお読みいただきありがとうございました。



スポットライト 2022フレッシュあげお

- フレッシュあげおの活動を知ることができました。いつか自分の娘がなってくれば良いな、と期待が膨らみます。(30代・男性)
- 知人の娘さんがフレッシュあげおに選ばれ、その活躍が楽しみです。(60代・男性)

フレッシュあげおは、キラリ☆あげおPR大使として市内のイベントで活動しています。活躍を期待しています。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。